



青島の風

青島日本人学校だより
令和2年2月5日
校長 金森 孝子

臨時号 1

春節休みに入る前日1月23日(木)に、子どもたちを見送ってから、すでに、2週間が経過しています。子どもたちは、現在、どのように毎日を過ごしているのでしょうか。日々、そして時間ごとに変化する通知や情報に、そして、様々なところからもたらされる情報に、保護者の皆様は、悶々とした苦悩の日々を過ごしていらっしゃるかと推察いたします。

現在、学校では、臨時休校の期間として、2月16日(日)までをお知らせしています。それは、青島市教育局発布通知「厳禁提前開学返校、全市普通中小学不早于2月17日」に基づいています。中国の他の日本人学校の情報も日々手に入れておりますが、各管轄の省で出される通知も異なっております。解釈の違いによるもの、省による状況の違いなどが、違いの原因であると思います。毎日、青島教育局に電話をかけておりますが、学校の動向を決定できる通知はまだ出ておりません。日本への転学など迷っていらっしゃる場合、現在、体験入学という選択(青島日本人学校に籍を残したままの仮入学)もあるかと考えます。そちらについては、学校が決まりましたら、青島日本人学校としましても、文書を作成し、依頼します。通知がないまま、学校が勝手に開校についての判断はできない状況です。情報が入り次第、学校の今後の動向について決定し、保護者の皆様にはお伝えをいたします。

学校の体制についてもお知らせします。臨時休校開始された2月3日より、当番の教員3人によるローテーション勤務をしています。その勤務の基となっている通知が1月29日 山東省人力資源和社会保障庁の「关于延迟省内企业复工的紧急通知」です。2月9日24時前に勤務してはならない、ということですが、青島教育局が最小限の教員の当番を置くことは認めているので、この体制をとっています。(教員の感染防止のために学校勤務は、10時から15時)としています。

3学期もあと1か月となり、学校再開、小学6年生、中学3年生の卒業式、そして、2019年度の修了式をしっかりと行っていくことが、青島日本人学校の職員の務めと考えております。ご理解、ご協力をお願いいたします。

令和2年 2月5日